

次期鈴鹿市教育大綱に係る意見聴取結果について

1 意見聴取の概要

(1) 目的

現在策定中の次期鈴鹿市教育大綱に係る骨子案について、学校関係者の意見聴取し、素案に反映するため。

(2) 調査対象団体等

ア 調査対象団体

市PTA連合会、各小中学校PTA（40校）、
各小中学校学校運営協議会（40校）

イ 調査時期

令和5年9月1日（金）～9月29日（金）

ウ 対象団体

81団体

(3) 回答数(率)

70団体（86.4%）

(4) 回答方法

ア インターネット

59団体

イ 専用用紙

10団体

ウ その他

1団体

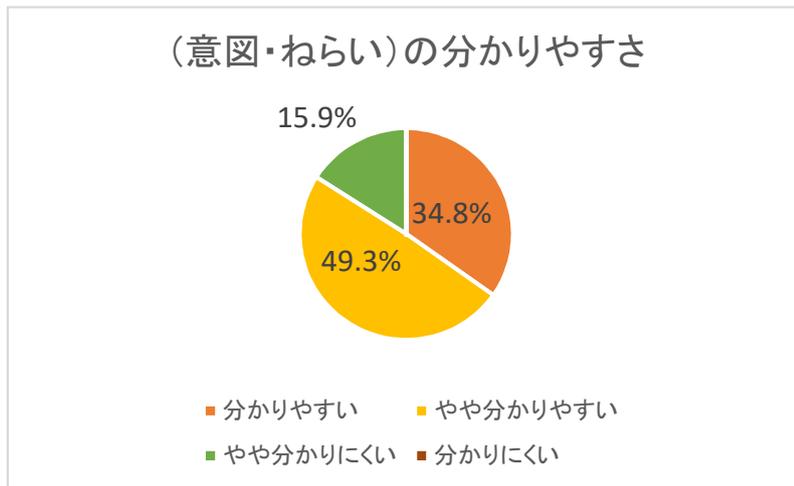
2 意見聴取結果概要

【めざす子どもの姿】 人とつながり自ら豊かな未来を切り拓く鈴鹿の子ども

(意図・ねらい)

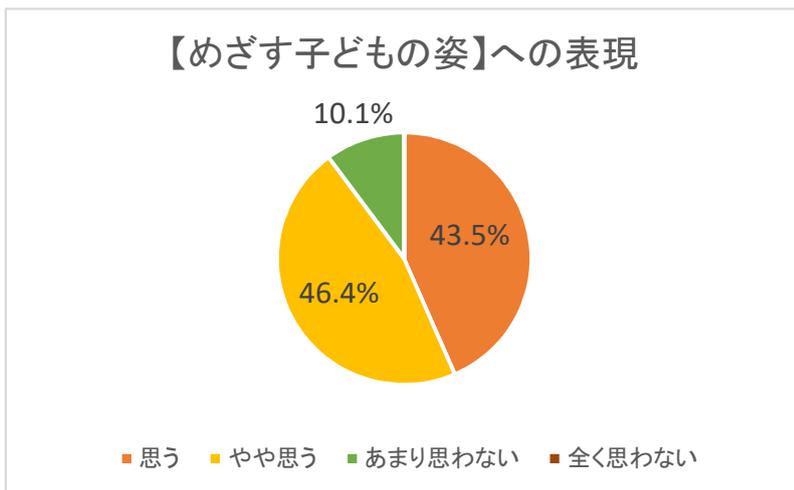
多様な考えを認め合う子ども、多くの人々と協働することで様々な課題を解決しようとする子どもの姿をイメージしています。そして、自分の可能性を信じ自己実現に向けて学び続ける力を身に付け、やがて本市の持続的な発展を支える人材となってほしいという願いをこめています。

設問1 (意図・ねらい)の分かりやすさについてお尋ねします。



項目	件数	構成比
分かりやすい	24	34.8%
やや分かりやすい	34	49.3%
やや分かりにくい	11	15.9%
分かりにくい	0	0.0%

設問2 (意図・ねらい)が【めざす子どもの姿】に適切に表現されていると思いますか。



項目	件数	構成比
思う	30	43.5%
やや思う	32	46.4%
あまり思わない	7	10.1%
全く思わない	0	0.0%

設問3 【めざす子どもの姿】や（意図・ねらい）について、ご意見がございましたらご記入ください。

No.	御 意 見（原文のまま記載していますが、個人等の特定につながる固有名称は「●●」としています。）
1	めざす子ども像に多様なという文言が欲しいです。
2	やがて本市のところが気に入らない なぜ鈴鹿市？ 全国にもしくは世界的に幅広く活躍できる人材になってほしいぐらいに書いてもらいたい。 それならば今の鈴鹿市のどこに魅力があるのかどこをどう発展していく余地があるのか？ と大人として思うし、その考えは書いた人のあからさまな正論を書き賛同の得やすい事を書き子供達の先をなにも考えてない自論。 働く先の少ない鈴鹿市に留まってほしくない 古くさい。
3	地域、鈴鹿市、三重県といった自分が暮らしている場所の、文化―経済―政治といった学習/体験/見学を 実行できると良い。身近な社会学習を通じて地元が芽生えてくると思います。
4	子供達が周りの状況を鑑み、自分の判断・意見醸成できる、或いは行動できる様に育て欲しい。
5	将来の目標に向かっての教育。現在の授業では、「みんな一緒に校区の公立中学校に進学」と言った感じで、私立中学への進学や、その後専門的な道に進みたい場合は、各家庭で塾に通っていないと進学できない感じに思えます。 また進路への相談も学校でするよりも塾や家庭教師と相談した方が、データも多く適切な提案、指導を行ってくれる感じ。 小学校高学年の生徒達には、沢山の職業について学ぶ時間を増やし、どのように進めば目標に近づけるのか？などの相談を出来る環境を作ってほしい。 沢山の社会人の話を聞き、どのように頑張れば、どう進学すれば、何をみにつければ、そうなるために今からやるべき事やこれから進む学校についても 考える、相談できる、努力する、といった考えを育みたい。
6	ジェンダーレスについて学んでいる子どもたちはその考えを柔軟に受け入れていると思います。 自分の可能性を信じるためには自己肯定感を高めていく必要を感じます。
7	デジタル時代を迎えようとも、とにかく「読解力」、本をたくさん読むことが必要である
8	人とのつながりを大切に
9	多くの人々と協働することで様々な問題を解決しようとする子どもの姿が実現すればよいと思う。
10	誰もが理解できるわかりやすい言葉を選んでほしい。
11	自分の可能性を信じ自己実現に向けて学び続ける力←この部分がもっと反映された居たらいいなと思います。
12	「協働する」とは連携、協力することとは何が違うのか説明が必要ではないでしょうか？
13	他者との関わりの中に視点の偏りを感じる。あくまで、●●の子供がどのように人間形成をはかっていくか、日本人としてのアイデンティティをどう築いていくかが大切と思う。
14	鈴鹿の子ども…としての願いは、とてもよくわかります。
15	表現が柔らか過ぎるように感じる。競争力があり、かつ多様性に富む人材育成は大切だが、鈴鹿市に留めることにこだわらず、国際人材の輩出を目指すべきである。
16	【めざす子どもの姿】や（意図・ねらい）は理解できるが、「本市の持続的な発展を支える人材」と少し結びつかない。本誌の発展を支える人材の育成に限らず、子どもたち自身が実社会において力強く生きていくための支援が必要ではないでしょうか。
17	家庭学習の重要性を進める。
18	【めざす子ども像】人とつながり→地域とつながりの方が温かさがある。
19	2023年の教育振興計画の継承を計り新たな課題もとり入れ、未来をめざす意図・ねらいがはっきりしていて良い。
20	子どもたち一人ひとりが学校から、先生から、友だちからそして地域の人々から多くのことを学び、自分は何がしたい何ができるのか、自分の可能性に向かって多くの力をつけて努力して生き生きと学校生活を送ってほしいと思います。そのために地域は支援を惜しみません。

21	<p>①様々な課題を解決する。How to とはどの様に展開していくのか？例えば</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題形成が出来、課題遂行が出来る人材 ・小集団活動で協働し、他の人の考え方を知って、自分の考えにプラスして行く。 <p>②可能性を信じて自己実現を学ぶとは！！小学生には若干むずかしい。 自己実現の発想は良いと思います。可能性を信じて、自分のやりたい事を自分で見つけ、実際にやっていく力で、非認知能力につながると思います。</p>
22	<p>学校教育は色々多過ぎて子ども達が個性のある人格形成になっているかわからない。特に地域に根ざす子どもづくりは学校教育だけでは達成しないし、魅力有る地域づくりがないことには本当のものとならないし、将来子ども達が住みつづけられる都市づくりが合せて必要と思う。力強い経剤、インフラ整備等の政治的な側面での施策リンクが第一と考える</p>

【基本理念】誰もが輝きウェルビーイングが高まる鈴鹿の教育

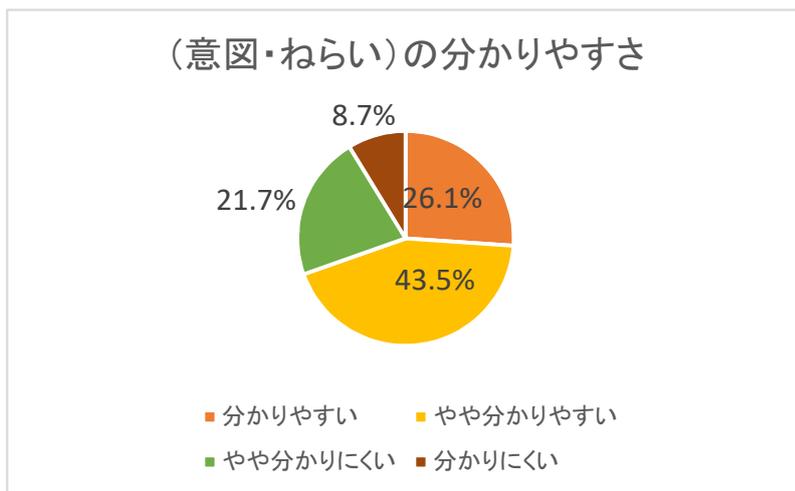
(意図・ねらい)

子どもたちがいきいきと輝くためには、誰もが自分らしく安心して学べる環境をつくる必要があります。そのために、学校は家庭や地域の人々とともに、子どもたちが夢の実現に向かって進めるよう支えていきたいと考えます。そして、それは子どもに関わる全ての人々にとってのウェルビーイング(幸福)の向上につながります。

※ウェルビーイング(Well-being)

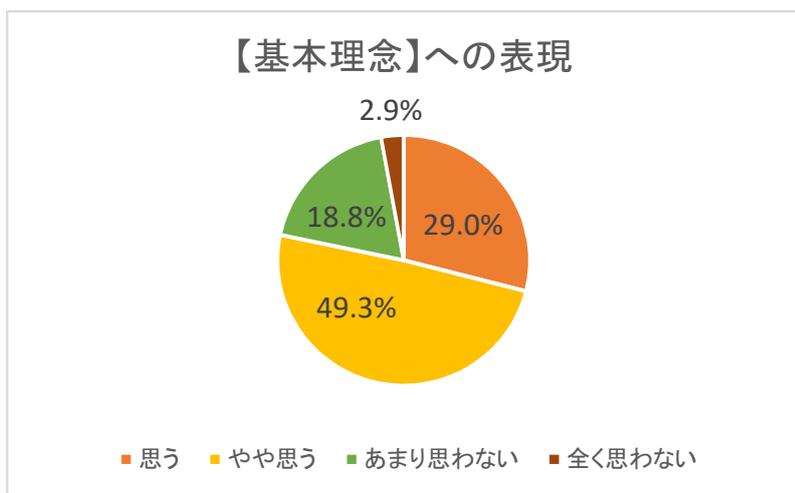
身体的, 精神的, 社会的に良い状態であること。短期的な幸福のみならず、生きがいや人生の意義などの将来にわたる持続的な幸福を含む概念

設問1 (意図・ねらい)の分かりやすさについてお尋ねします。



項目	件数	構成比
分かりやすい	18	26.1%
やや分かりやすい	30	43.5%
やや分かりにくい	15	21.7%
分かりにくい	6	8.7%

設問2 (意図・ねらい)が【基本理念】に適切に表現されていると思いますか。



項目	件数	構成比
思う	20	29.0%
やや思う	34	49.3%
あまり思わない	13	18.8%
全く思わない	2	2.9%

設問3 【基本理念】や（意図・ねらい）について、ご意見がございましたらご記入ください。

No.	御 意 見
1	ウェルビーイングがわかりにくい。注釈なしにわかりやすく表現してほしい
2	安心して学べるを具体的に書く。 夢のある子に寄り添う学校では無い。誰もが無償で学べる場を早く作るべきだし先生の質からかえるのと英語の教師質がどこも良くない。
3	夢の実現に向けて進むことが、なぜウェルビーイングに繋がるのかを、しっかりと子どもたちに伝え、理解させる事が重要です。夢と現実のギャップは常につきまとうものですので、その打開策をどう教育するか、教師の力量が重要です。
4	家庭環境や、生活習慣等の格差が広がっていても、学校に来れば皆平等に幸せを感じる場所であってほしい。 学校に行くことが楽しいと思えるような、先生と生徒、生徒と生徒の関係をどのように作っていくか。 小学校の間は、「皆仲良く」と言った感じで過ごすのが、高学年から中学に入ってからでは、ストレスを感じない関係づくりも考えて欲しい。
5	子どもがいきいきと過ごしてくれることが関わる方のウェルビーイングの向上に繋がるとメッセージにすぐ納得できます。子ども一人一人が自分なりの夢や目標をもっていきいき過ごしてもらいたいです。
6	注釈をつけなくてもいい表現に修正されたい。
7	ウェルビーイングという言葉が分かりにくい
8	今夏の甲子園で慶應高校が優勝したことがとても印象に残っており、慶應高校野球部のように自由に自分で考え行動できることを大切にしていきたい
9	ウェルビーイングについて英語表示が必要か
10	ウェルビーイングという言葉が聞き慣れないものでわかりにくい
11	Well-beingの使い方がよくわかりません。一人ひとりの多様な幸せという意味だと思うのですが、「ウェルビーイングが高まる鈴鹿の教育」というのがイメージしにくいです。
12	まだ夢をもっていない子どもにはどのように支えるのか。
13	ウェルビーイングという言葉が聞き慣れない為分かりにくいと感じる
14	誰もが理解できるわかりやすい言葉を選んでほしい。
15	注釈が必要な文言「ウェルビーイング」を基本理念に入れることに抵抗がある。誰もがわかる日本語を使ってほしい。 地域の子どもたちがいきいきと輝いていると、その地域の方の幸福感も向上するだろうという点はとても理解できる。だから、わかりやすい言葉を使うべきと考える。
16	「環境」は、行政が主導でつくるものではないですか？
17	ウェルビーイングという言葉を使うことによって「意図・ねらい」が、大きくなりすぎているような気がします。子どもに関わるすべての人々に…とか、誰もが…とか、難しく考えてしまいがちな部分で、先に無理、無理…って思ってしまう。
18	基本理念の言葉がききなれないので耳馴染みの言葉が良いと思う
19	Well-beingという言葉は鈴鹿市では高齢者も保護者も伝わらないどころか、説明の過程でそこから筋違いの反発を生み出しているのを実際に目にしているので、地域性になじまない言葉だと懸念している。
20	注釈をつけるような用語は避けて、基本理念や意図・ねらいを記述されたい。
21	学習環境の多様性を認識する。
22	ウェルビーイングという言葉がややわかりにくいように感じます。別の言葉で表現してもらうことはできますか。
23	分かり安い言葉で表現してほしい。日本語で表現してほしい。
24	ウェルビーイングということばが市民にとって聞きなれないような気もします。もっと今後啓発していくかして、浸透させる必要があると思います。 (SDGsの限定版ととらえてもよいのでしょうか)
25	子どもたちが自分の夢に向かって努力しているのを私たち大人が地域が支援をすることが大切です。
26	①子供たちの夢の実現→小学生の頃の夢は変化していくものの、生きがいや人生の意義を学校・家庭・地域で(三位一体)で支えていかなければならない。 ②ウェルビーイングは良い言葉です。 身体的・精神的・社会的、まさに三位一体で取り組む教育と感じます。
27	総論だけでは理解出来ない。これまでも言葉はちがうが方向性は同じの様に感じられる。総論に目指した具体的な動きが限られている様に感じる。

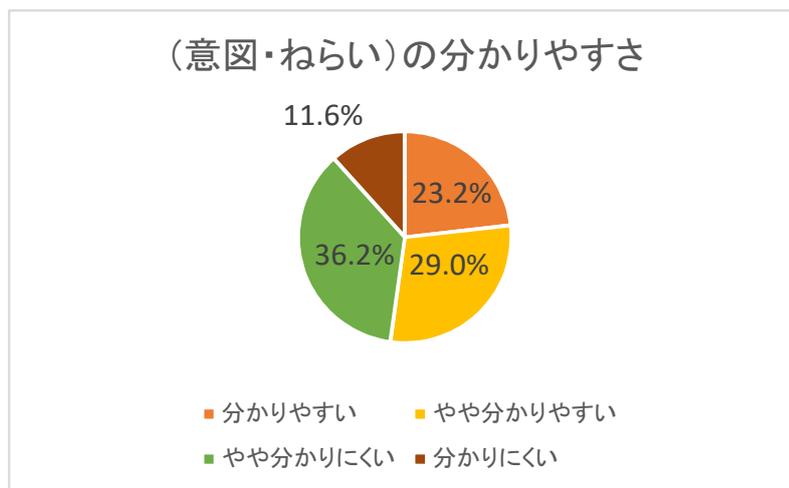
【基本目標】(1)教育DXを基盤に， Society5.0で活躍する力を育む教育内容を創造します
(意図・ねらい)

ICT機器の活用によって教育の可能性は大きく広がりました。教育DXはそうした革新的で新たな価値を生み出すものです。子どもたちが将来Society5.0と言われる超スマート社会で活躍するためには，教育DXを基盤に新たな教育内容を創造することが必要です。一方でそのような「流行」とともに，大切となるのは「不易」の部分です。社会がどのように変化したとしても，精神的な豊かさや人としてよりよく生きるための様々な力を育みたいと考えます。

※Society5.0

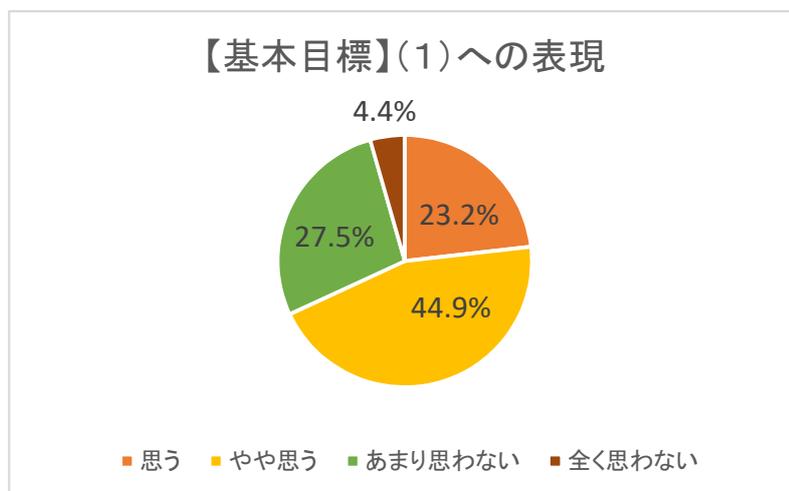
サイバー空間とフィジカル(現実)空間を高度に融合させたシステムにより，経済発展と社会課題の解決を両立する人間中心の社会(狩猟社会，農耕社会，工業社会，情報社会に次ぐ第5次の新たな社会)

設問1 (意図・ねらい)の分かりやすさについてお尋ねします。



項目	件数	構成比
分かりやすい	16	23.2%
やや分かりやすい	20	29.0%
やや分かりにくい	25	36.2%
分かりにくい	8	11.6%

設問2 (意図・ねらい)が【基本目標】(1)に適切に表現されていると思いますか。



項目	件数	構成比
思う	16	23.2%
やや思う	31	44.9%
あまり思わない	19	27.5%
全く思わない	3	4.4%

設問3 【基本目標】(1)や(意図・ねらい)について、ご意見がございましたらご記入ください。

No.	御 意 見 (原文のまま記載していますが、個人等の特定につながる固有な名詞は「●●」としています。)
1	注釈なしにわかりやすく表現してほしい
2	だいぶ遅れてます。もっと早くやるべき
3	基本となる知識/能力がどのようなものなのかを、教師が理解し子どもたちに指導できるようになることが重要です。
4	個々の学びの中でのバラツキがあると思う。 子供の得意な所、良い所に気づかせてあげる事で、劣等感を無くし、心の豊かさを持たせてあげてください。
5	タブレットを利用することにより、苦手科目を克服する等、平均的に学力を上げること、興味のある科目や事柄をさらに伸ばす道具として利用したい。 調べるといった事も、これからは辞書よりもタブレットを使う方法が主になるので、もっと利用の範囲を広げていき、宿題や課題の提出なども端末から送信して出来るよう、タイピングや編集に慣れておいた方が、進学後の授業にスムーズに対応できる。 高校生になってから、タイピングや資料の編集などを習うようでは、昔と変わっていない。 また、不登校の生徒も家庭で授業が受けられる、登校している生徒も過去・今日の授業を何度でも見られるようにして、復習に役立てたい。 施設の老朽化や環境整備については早急に対応してほしい。 ●●中学校の運動場にある男子トイレは環境的にも良くない。 また、学校の木々の剪定、環境整備などの予算も鈴鹿市で十分確保してほしい。 PTAの予算を学校の財布として使わないように進めていかないといけない。 今後PTAの存在・必要性・責任を考えていく時代になった。 地域の方と学校・生徒の関係もシビアになり、困っている子供への声掛けも、不審者と思われぬように気を付けないと、なかなか以前のように声掛けできない。
6	時代に合わせて変えていかなければならないことと、不易の部分とのバランスが難しいと感じます。
7	注釈をつけなくてもいい表現に修正されたい。
8	教育DX、Society5.0がわからない
9	全く理解できない内容である
10	考え、意見は良く理解出来るが言葉の表現の方法を、基本目標についての表現を
11	内容や言葉が難しい
12	教育DXの内容が分からないので、理解しやすいようにしてください。
13	教育目標が「教育DXを基盤に」と書かれていますが、「教育DXを推進し」の方がよいのではないのでしょうか。 (意図・ねらい)に「流行」と「不易」という言葉が使っていますが、「教育DX」は流行ではないと思います。新たな社会を牽引していく人材として求められている力とは何か具体的に書いてあるといいかなと思います。そして、その力を支えるものが、「好奇心」であり「感性」なのではないのでしょうか。新しい言葉がいっぱいで、よく分かってなくて見当はずれなことを書いているかもしれません。
14	「教育DX+Society5.0」という言い方をもう少し分かりやすい言葉に置き換えたほうがよいと思う。例えば「革新的で新たな価値を生み出す教育を基盤Society5.0～」としてもよいかと思う。
15	市民や保護者にとけこむものにしてほしい。
16	今どきの文言を並べただけの印象である。 注釈が必要な文言「Society5.0」「教育DX」(「教育DX」にも注釈を)を基本目標に入れることに抵抗がある。 すでに一般用語なのか？ 「不易」の部分こそが、根っこの部分であり、とても重要であるとするが、基本目標の文言には全くそれが読取れない。人としての共感力・想像力こそが養われなくては、芽は伸びない。
17	学校(現場)でDX教育を確立出来るよう行政が仕組み作りなどを早急に整備して下さい。
18	情報伝達手段が大幅に変化したとしても個々人の意識がついていけるかが疑問
19	教育関係の仕事に携わっている人にとっては、分かりやすいのかもしれませんが、少し距離のある方にとっては、頭を抱えてしまいそうです…。 言いたいことはわかります。考えもわかります。でも、難しい…… 誰がそのように実現させるために導くんですか？先生方ですか…？ 先生って、大変ですよ…

20	教育DXやSociety5.0など初めて聞く言葉が全く理解できない
21	教育DXとSociety 5.0という言葉自体が理解されない中で、意図・ねらいについてはもっと具体的な内容に踏み込むべきではないかと考える。
22	「ICT機器の活用については・・・」は、よく聞かすが、「教育DXやSociety5.0と言われる超スマート社会で活躍」といった文言については、ニュース等でも聞いたことがなく馴染みが薄い。また、注釈をつけるような基本目標や意図・ねらいを避けて記述されたい。
23	不易は教育の中で変わらないもの、いわゆる「知・徳・体」であり、それを付加していくものがある意味「流行」と理解しています。Society5.0といわれる世界へと一気に結び付けていくと、この大きな開きがあり、結果現場が混乱するのではと思います。
24	ICT機器の使用場所を学校だけでなく家庭学習に利用すべきだと思う。
25	実現のための具体性が見えない。
26	ICT機器活用と精神的な豊かな子供・バランスのよい子供に育てほしい。
27	横文字や専門用語が多いのが気になります。述べていることは広く市民、とりわけ保護者・教育者をはじめ多くの子どもや大人がわかりやすい工夫をしてほしいです。 (前回のときのように用語は解説していただくと思いますのでよろしくお願いします。)
28	ICT機器を使用した教育は現代的で子ども一人ひとりの持っている能力を引き出しでやる良い機会であり、わかりやすく楽しく学べると思います。
29	①意図・ねらいは理解出来るが、ICTとSociety5.0が家庭への影響にどの様に及ぼすか心配(学力との関係) ②みえスタディチェックのCBT化・MEXCBTへの移行との関連は？
30	基本目標に不易に関する文言を入れる (例)・・・活躍する力とともに、人としてよりよく生きるための力を育む教育内容を創造します。
31	教育現場には今後大変重要なテーマと考えているが環境づくりに本腰が入るのかこれまでの色々の事業をみても感じるし、教育現場への入り方を重分議論し具体的な施策のもとに進めてほしい

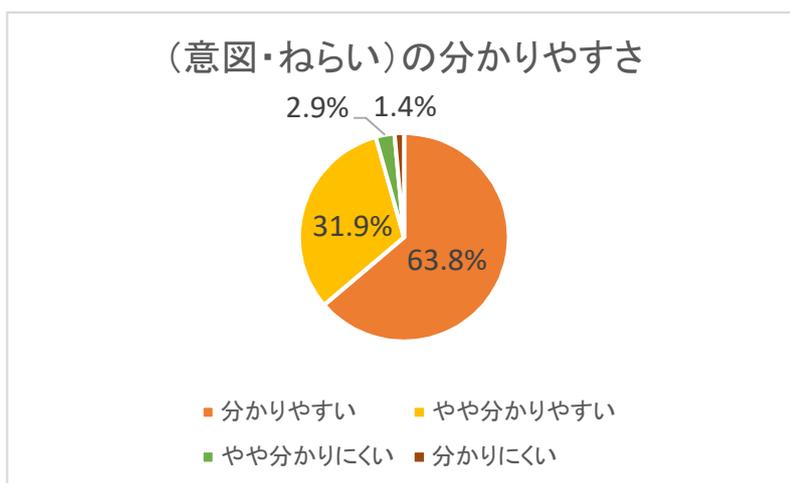
【基本目標】(2) 家庭や地域とともにある学校づくりを推進します

(意図・ねらい)

一定の成果を見せている学校運営協議会の取組を一層推進し、より協働的なものへと進化させることで、社会全体で子どもの育ちを支えたいと考えます。

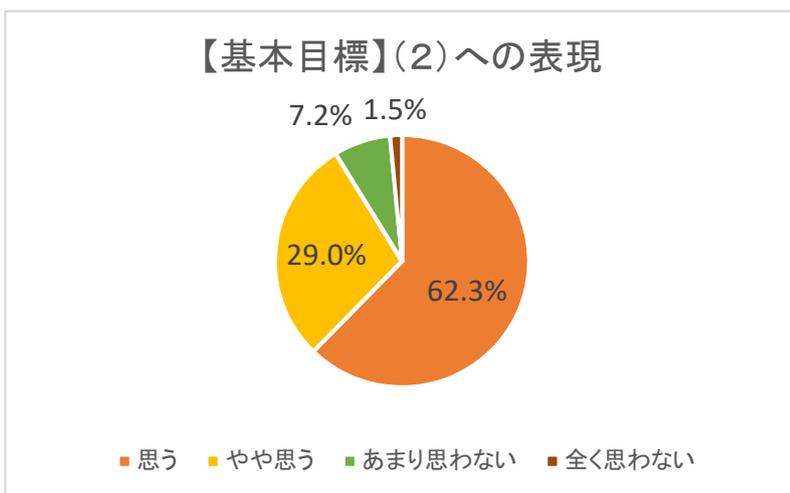
また、地域は子どもたちにとって身近で貴重な教育資源であると言えます。地域の良さを学び地域との交流を深めることで、地域に対する愛着や誇りを醸成することにつながると期待しています。

設問1 (意図・ねらい)の分かりやすさについてお尋ねします。



項目	件数	構成比
分かりやすい	44	63.8%
やや分かりやすい	22	31.9%
やや分かりにくい	2	2.9%
分かりにくい	1	1.4%

設問2 (意図・ねらい)が【基本目標】(2)に適切に表現されていると思いますか。



項目	件数	構成比
思う	43	62.3%
やや思う	20	29.0%
あまり思わない	5	7.2%
全く思わない	1	1.5%

設問3 【基本目標】(2)や(意図・ねらい)について、ご意見がございましたらご記入ください。

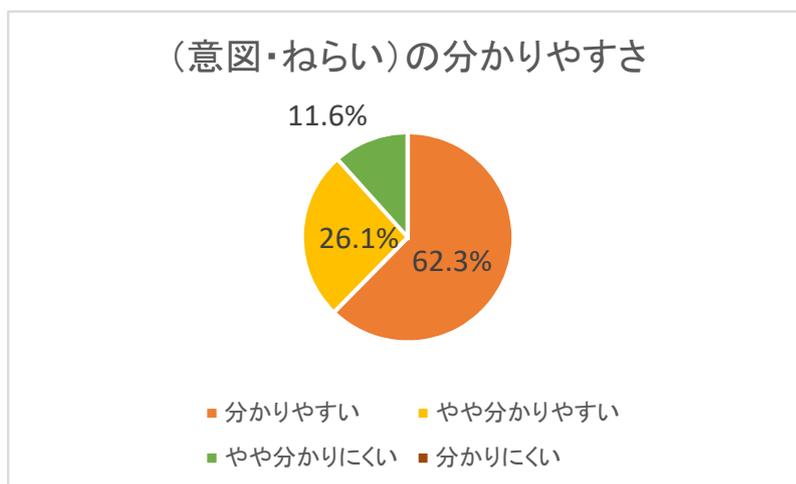
No.	御 意 見 (原文のまま記載していますが、個人等の特定につながる固有な名詞は「●●」としています。)
1	要らない組織、地域密着なんて周りは協力制のない老人、大人ばかりなのに時代錯誤
2	運営協議会の議論を活性化させるような、事例の研究会とか、テーマ毎の分科会などを企画してほしい。
3	学校運営協議会は、one of them として、自治会/老人会/任意団体等との関りも大切です。地域の名人と言われる人との関わりも同様です。
4	地域愛を持った成人に育っていく事を願っています。
5	学校運営協議会は保護者代表としてPTAから3名出席しておりますが、普段なかなか関わることのできない地域の方々や先生方とお話できる貴重で有意義な時間です。これをクラス学級から何名かでいただいたり発展させていくと良いなと感じています。
6	学校運営協議会と地域づくり協議会との連携・協働を表現されたい。
7	中学校生活はわずか3年間だけであるが、大人になる前段階の大切な3年間である。そのため、人として今後の長い人生を送っていくため、考え方や進路のための方向を身につけ選択できるようにしてもらいたい
8	地元を大切に学校作りの、推進をアピール
9	「ともにある」より一歩進んだ表現のほうがよいと思います。
10	地域の方々には、毎日の登下校でお世話になっておりとても有り難い。より愛着や誇りをもてるような取り組みが必要だと思う。●●小では、今、実現されているのではないかと感じている。
11	地域の方が子どもたちと交流を深めることで、子どもたちだけでなく地域の方も、地域に対する愛着や誇りを醸成することができる。 「学校運営協議会」というと、学校運営協議会委員だけを指すように受け取れる。「コミュニティスクール」と言い換えたほうが、協働する対象者が広がるが、いかがだろうか。
12	地域の中心である学校を廃校にすることは地域との繋がりを疎遠にする等意図、ねらいには反する内容では無いですか？
13	情報化の中で地域の現実が仮想空間というか、ギャップがありすぎて地域は彼らにとって必要のないものになっている。 地域、地域とというか人手不足、予算不足の代替えとして地域を考えていないか。
14	もう少し具体的な例をあげてほしい
15	よく分かります！ もう少し、親の協力があってもいいと思う。 その為にどうすればいいか…？！
16	コミュニティスクールに過度な期待をするべきではないと考える。その地域に特化したものも悪くはないが、範囲を広げた時の応用力が学校運営協議会にはないと思う。コミュニティスクールの影響は限定的なものにとどめるべき。地域横断的なコンテンツを作っていく必要があると考える。
17	地域づくり協議会との連携・協働について、具体的に記述されたい。
18	地域自治会と連携を取り、色々な問題点を解決できる状態にする。
19	地域にできることは地域に投げ、学校教員は働き方改革というフレーズでどんどん地域から離れていっている気がする。学校教員は関わらないのか？関わらなくてもいいのか？
20	地域と家庭がより協力して、子ども達を育てていけたらと思います。
21	子供たちが安全・安心に学べるように、運営協議会も努力推進して参ります。
22	(1)よりも(2)の方はわかりやすく良いと思います。
23	当校運営協では、多くの先生方から子どもたちへの思い、校内での様子など報告されています。各委員の意見も出され、学校、家庭、地域との情報交換の場としての協議会にしてゆきます。
24	コミュニティスクールの変化で支援型→連携型→協働型へと移行し子供を主体とした活動を学校、家庭、地域で共に進めて行く必要がある。子供たちに、何を学びたいのか、何をしたいのかを学校活動計画、反映していかなければならない。 トップダウン方式からボトムアップ又は2way方式へと変えていかなば。
25	協働的なものを具体例を入れて表記する。 〈例〉…一属推進し、学校支援ボランティアの拡充などより協働的…
26	家庭や地域とともにという言葉は意味もわからないまま広まった感が強い。第一に、家庭への支援が何一つ見えない 本当に手を差し伸べるべき家庭はいかなるものか等とか地域と家庭の関係性、学校と家庭の関係性等きめ細かい施策立てが必要と感じている

【基本目標】(3)安全で安心できる学びの教育環境を整備します

(意図・ねらい)

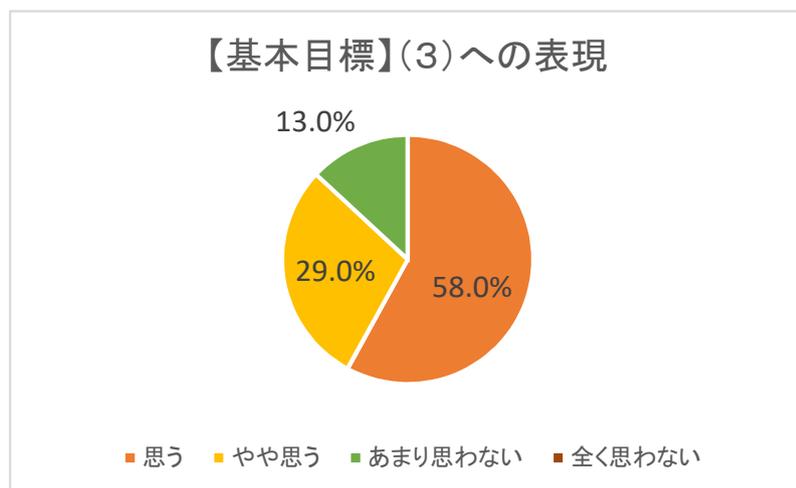
学校施設の整備, ICT機器の維持管理等, 子どもが安全に学べる環境づくりは保護者の方も強い関心を示しており, 更なる取組が必要です。また, 児童生徒数の減少に伴い, 学校再編について検討を進めることも急務と考えています。

設問1 (意図・ねらい)の分かりやすさについてお尋ねします。



項目	件数	構成比
分かりやすい	43	62.3%
やや分かりやすい	18	26.1%
やや分かりにくい	8	11.6%
分かりにくい	0	0.0%

設問2 (意図・ねらい)が【基本目標】(3)に適切に表現されていると思いますか。



項目	件数	構成比
思う	40	58.0%
やや思う	20	29.0%
あまり思わない	9	13.0%
全く思わない	0	0.0%

設問3 【基本目標】(3)や(意図・ねらい)について、ご意見がございましたらご記入ください。

No.	御 意 見 (原文のまま記載していますが、個人等の特定につながる固有名詞は「●●」としています。)
1	賛同
2	いずれも費用が掛かることで、今も必要だとは思っていてもできない理由はすでに分かっている事だと思うので、ぜひ予算化を強化してほしい。
3	安全で安心して学べる環境は過去から長年求められて実践してきた事がだと思しますので、現状の課題を明確にしたうえで、短期的活動と長期的活動を決めて取組んで欲しい。
4	教育現場での不祥事が報道されています。 教育現場の安全についても留意願います。
5	<p>まずは生徒の学力・コミュニケーション力・個性を発展させてあげたい。 ひとりひとりの得意分野をもっと伸ばしてあげたい。 将来を見据えた指導・教育・相談・そしてまだ見たこと・経験したことのない社会を一杯見て欲しい。 これからの時代、今ある職業が無くなったり、新たな職業が生まれたりする中、 大きな目標に向かって育ててあげたい。 地域の方の協力やその地域について学ぶこと、鈴鹿市の優れているところ、他の市より遅れているところ、 良いところだけでなく、弱点も見て学んでほしい。</p> <p>各家庭で生活環境も違いが大きくなる中、今まで通り学校が土日休みのシステムでは 家族のコミュニケーションが難しくなっている。 平日でも、(会社で言う有給のように)生徒が休みやすく、また休んだ日の授業をタブレットで後からでも学べるシステムを整えて欲しい。</p>
6	<p>学校再編については地域、学校、保護者、色々な方面からの声があるとおもいますが、子ども達の声はどこに届くのでしょうか？ 実際に通うことになる子ども達の気持ちを一番に考えてすすめていただきたいです。</p> <p>クロムブックですが毎日持ち帰り翌日には学校に持って行くので荷物が教科書とクロムブックで重くなりすぎていると思います。 クロムブックは週末だけ持ち帰るなど対策できればよいと思います。</p>
7	狙いは理解できますが、教育委員会が言われる保護者方々関心を持っておられると書かれていますが、現実と少しズレが有るように感じます。
8	安全安心と開放的な環境は相反する関係にあると思う。現在●●中学校はどこからでも入ることができる。そのためビデオカメラの設置をお願いしたい
9	トイレの様式化(ウォッシュレット完備) 危機管理対応の資質向上
10	小中一貫教育の推進を希望するが、地元への説明と理解を早くから行うような、文言があれば良いが
11	<p>学校再編の急務とあるが、急ぐあまり質の悪い再編にならないよう子どもたちの負担が大きくなるよう心のケアも含めて進めて頂けるといいなあと思う。 幻の6年間の新しい学校、本当に必要だろうか…義務教育学校へ向けて少しでも慣れておく為とあるがそこに加わる●●小の子どもたちは慣れる時間を与えず義務教育学校へ… 先に統合する3校との扱いの違いに戸惑いを感じます。 どちらが負担(心的負担、金銭的負担、時間的負担)が少なく済むかを今一度考えて頂く必要はないか確認して頂き、言葉はわかりやすく、具体的な説明を望みます。</p>
12	●●小学校の体育館にもエアコンが設置され、熱中症対策を行いながら活動ができるようになった。全校での導入が進むとよいと思う。
13	学校再編とはどのような内容なのか、また、具体的にどうするのかをもう少し付け加えてもらえるとよいと思う。
14	施設の老朽化、特に体育館外付けトイレはひどい。ハード・ソフト両面できっちり考えていただきたい。
15	学校設備等の整備の必要の時期と同時に児童数の減少が重なり大きく再編する時期が来たと思われま
16	「学校再編」という課題をここに載せることに違和感がある。 「老朽化した学校施設は、学校再編によりその問題が解決する」と読取れるが…。
17	教育環境を整える事は重要な目標となり得る事と思います。 問題は進捗を早める事だと思います、早急に取り組んで下さい。

18	学校は地域と密接なものなら、児童・生徒の減少→再編には賛成しかねる。
19	設備の整備拡充についてももう少し前向きに考えてほしい
20	児童生徒数の減少に伴い……という課題を考えていくことは大事だと思いますが、実際まだ、少人数でも学校として成り立っている現場からすると、学校施設の整備にもっとお金をかけて欲しい。 危険が伴ったり、見た目がよくなかったり… 学校独自や地域で対策はしていますが、やはり人材や金銭面で大変な部分がたくさんあります。 よろしく願います！
21	教育環境の安全・安心は、確かな学力に裏打ちされている。逆に言えば、学力向上を実現すれば、全てを肯定的に捉えることができるので、なれ合いではなく、切磋琢磨する教育現場であってほしい。
22	児童生徒数の減少に伴う学校再編については、子ども達の利益を最優先するとともに、地域との協議を十分に行ってください。
23	学校再編は、いずれ何処もが抱える問題です、地域と一緒に早くから協議すべきだと思う。
24	「安全に学べる」とは何を指しているのか？防犯対策の安全？授業規律がきちんと取れている意味での安全？
25	(洋式トイレ化を早急をお願いしたい。) 子供たちの尊厳と環境の面からもぜひ、お願いしたい。 (大雪時の登下校の判断のお願い) 教育委員会の判断⇒校長判断にしてほしい。 山奥で雪深い所で、1年に1回程度大雪時は、子供達の安全安心を考えると地域の人々から疑問の声が多く聞こえる。ご検討願いたい。 学校再編が急務であれば洋式トイレ化も急務でお願いしたい。
26	学校の再編は喫禁の課題であり、広く市民に周知していくこと、また、施策的なことをどんどん提案し、関心をもっていただくことが肝要だと考えます。
27	基本目標の安全安心、教育環境を整備として、ICT機器の維持管理で安全に学べる環境にはどのようなHow to か意味が分からない。むしろ、生徒数の減少に伴い、学校再編の検討で、小中一貫教育を行う「義務教育学校」の新設でメリット・デメリットを市と地域・学校・家庭で話し合い討議すべきである。 ・生徒数の減少・第1計画、第2計画・どの所へ建設するのか・通学するサクセスは・3校分散教室・あと地はどうなるの、活用は・その他のギモン関連等 メリット→更なる向上をめざして デメリット→どの様に進めるのか 小中一貫教育の件 ※今は鈴鹿市の南部ですがいずれ中部、西部としても少子化していく傾向にあります。よろしく御願います。
28	「安心」についての子どもの視点から文言を入れる (例)・・・維持管理等、子どもが安全に学べるとともに、先生・子ども同士のよりよい人間関係を育む教育環境づくり・・・
29	学校の環境整備は、時には地域の声も入れて把握しないと学校サイドだけだと本当の困りごとが見えない事があり、人、物、金の面からも行政が実態把握をしてほしい。 学校再編については、別の指針で進めるべきと思う

大綱全体への御意見

No.	御 意 見
1	<p>教育・地域交流・多世代の課題に対する新しい展望</p> <p>◎教育の目的と価値 教育は、読む・書く・話すといった基礎技術の向上を目指すだけでなく、人々が互いに理解し合える場を創造する重要な手段です。</p> <p>◎地域交流と多世代の結びつき 特に現代社会では、年代や背景の異なる人々が接する機会が減少しているため、そのような隔たりを解消する地域交流の場が必要です。 社会とのつながりが希薄になることは、個人が取り残され、犯罪に繋がる可能性が高まる事態を招きかねません。</p> <p>◎共同での問題解決 地域や学校、家庭で「何をするか」についてみんなで考え、新しい解決策やアイデアを生み出す必要があります。</p> <p>◎人格形成と道徳教育 人との良好な交流を通じて、自己を磨く機会を持つこと、そして気づきや思いやりを教える道徳教育も重要です。</p> <p>◎地域の財産 良好な人間関係は、次世代にも価値ある「地域の財産」として伝えられるべきです。</p> <p>◎コミュニケーションの重要性 「言葉のキャッチボール」とも言えるような、明確で効果的なコミュニケーションを促進すべきです。</p> <p>◎社会的な健全性 「ホウレンソウ」の原則（報告・連絡・相談）は、多世代間での健全なコミュニケーションに貢献します。上司が部下、年配者が若者に報告・連絡・相談するための略語です。</p> <p>◎高齢者と若者の関係 高齢者が若者の活動や言葉を理解できないことは、社会が進歩している証拠であり、これを受け入れ、新たな価値観を共有する方法を模索すべきです。</p> <p>総括 教育は人づくり、人づくりは学校づくり、そして学校づくりは最終的には地域づくりに繋がると言えます。この連鎖を強化し、社会全体でのより良い未来を築くための多角的な取り組みが求められています。</p>